



# 八日市まち協だより

第63号  
令和4年6月発行

## 退任にあたって

八日市地区まちづくり協議会  
前代表 高村 修

振り返ると平成 26 年（2014）の期中 12 月から雲川代表の後を受け、7年間を微力ではありましたが、皆様方のご理解ご協力のもと務めさせていただきました。

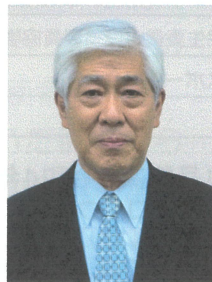
新型コロナ禍の中、活動自体を縮小せざるを得ない2年間もありましたが、一番の思い出は滋賀県立大学の上田洋平先生指導のもと歴史文化プロジェクトを立ち上げたことでした。自治会、シニアクラブなどの皆さんと、八日市地区の一番栄えていた昭和30年代のお話を聞く会合を重ね、絵心のある方の参加や、聖徳中学校と八日市高校の美術部の協力を得て襖4枚分の八日市ふるさと絵屏風が完成しました。

まち協だよりの紙面の一新を図るため、広報委員に若い年代の方も加わったこと、既に新規プロジェクトの活動も始まり、後任の浦根悦夫代表と共に更なるまちづくり活動の進展を願い退任のご挨拶と致します。

## 新任のごあいさつ

八日市地区まちづくり協議会  
新代表 浦根 悦夫

この度八日市地区まちづくり協議会代表を前任の高村修さんから引き継ぎました。どうぞよろしくお願い致します。



まちづくり協議会は地域住民が身近な問題に協力して取り組み、その良さを次代に継承して、いきいきと安心して暮らしていけることを目的としています。

そのためにコミュニティセンターを中心として自治会連合会や各種団体が事業を運営しています。また、11ある各種プロジェクトでは、環境美化、子育て支援、高齢者福祉、防災減災、歴史文化等幅広く活動されています。皆様も何度かは何かに参加していただいていることと思います。

この八日市地区に住んでいて良かったと思っていただけよう、微力ながら務めさせていただきますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和4年度定期総会を書面表決で行いました

八日市地区まちづくり協議会では、令和4年度の定期総会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による表決を行い、賛成多数ですべての議案を可決いただきました。表決の結果は次のとおりです。

表決書送付数：86 返送分：71

- 第1号議案 承認：71 不承認：0
- 第2号議案 承認：71 不承認：0
- 第3号議案 承認：71 不承認：0
- 第4号議案 賛成：71 反対：0
- 第5号議案 賛成：71 反対：0
- 第6号議案 承認：71 不承認：0

### 第1号議案 令和3年度事業報告(主なもの)

#### 【まちづくり事業】

- ・コロナ禍の中、いくつかのプロジェクトでは事業を縮小して実施。
- ・歴史文化プロジェクトでは、八日市南小学校3年生が八日市ふるさと絵屏風を地域学習の教材として活用。併せてカルタづくりにも挑戦。

#### 【指定管理事業】

- ・コロナ禍で、さざなみ学級、わくわく子ども塾を中止。えんめい短大は縮小して4回開講。

- ・八日市地区市民大運動会をはじめ、子どもサマーフェスティバル、コミセンまつりをコロナ禍で中止。文化祭は展示が中心なので実施。
- ・ヨガレッチ教室、男のヨガ教室は好評につき継続的に実施。
- ・コミセンのホームページを開設。

### 第2号議案 令和3年度決算報告

- ・まちづくり事業会計と指定管理事業会計の承認。

### 第3号議案 令和4年度役員

#### 執行役員

まちづくり協議会代表	浦根 悦夫 (第7条第1項第4号)
副代表	平井 康博 (自治会連合会会長)
副代表	大橋 和史 (第7条第1項第4号)
常任理事	森 正 (ちゃいるどネット八日市会長)
常任理事	加川 泰正 (社会福祉協議会会長)
常任理事	小杉 光雄 (民生委員児童委員協議会会長)
常任理事	河村 尚昭 (第7条第1項第4号)
会計	藤田 恵子 (第8条第3項 代表の指名)
事務局長	中島 俊治 ( )
コミュニティセンター館長	中島 俊治 (第8条第1項第6号)



理事（第7条）

第7条第1項第1号 自治会連合会の各総自治会長		第7条第1項第3号 各プロジェクトより	
東本町総自治会会長	白木 裕行	冒険遊び場づくりプロジェクト	村山 弘晃
八日市町総自治会会長	平井 康博	延命夢クラブ	田中 健士
金屋総自治会会長	友本 雅彦	箕作山麓里・山づくりプロジェクト	高嶋 芳紀
浜野総自治会会長	小杉 義和	花いっぱいプロジェクト	高村 修
八日市清水総自治会会長	池戸 旬夫	いきいきあったかサロン	廣島 育子
八日市緑町総自治会会長	中村 達夫	子育て支援プロジェクト	森 和子
第7条第1項第2号 コミュニティ部会より		八日市つながりプロジェクト	
ちやいんどネット八日市会長	森 正	清水川湧遊プロジェクト	矢島 之貴
人権のまちづくり協議会会長	野瀬 信弘	防災プロジェクト	小嶋 松治
社会福祉協議会会長	加川 泰正	歴史文化プロジェクト	白木 一男
民生委員・児童委員協議会会長	小杉 光雄	まち鉄プロジェクト	山下 勝司
スポーツ協会会長	大洞 共一	第7条第1項第4号 会員より	
		浦根 悦夫 大橋 和史 河村 尚昭	

会計監事（第9条）

八日市地区自治会連合会より選出	
白木 裕行	小杉 義和

まちづくり委員

総自治会名	氏 名
東本町	山下 勝司 山田 玲子
八日市町	森野 正吉 中村 敦美
金 屋	藤島 銀二 堤 祐子
浜 野	堤 吉男 上阪 よう子
八日市清水	高嶋 芳紀 田中 美恵子
八日市緑町	松村 栄土 磯部 輝光

第4号議案 令和4年度事業計画

新型コロナウイルス感染症は、以前のような感染拡大は収まりつつありますが、先行きはまだまだ不透明な状況です。コミセンの事業については、3大事業の内、運動会とコミセンまつりは中止とし、もう1年様子を見ることにしました。

「えんめい短期大学」をはじめ、ヨガレッチ教室などの教室、料理講座などの短期事業は定員を減らして実施していきます。また、地区住民から卓球台の寄贈を受けて始めた「みんなの卓球クラブ」

は週2回、毎回20人を越す方々が汗を流しています。ほかにもニュースポーツの教室など、人が集えるコミュニティセンターを目指します。

まち協のプロジェクトについては、鉄道を活かしたまちづくりを考える「まち鉄プロジェクト」が立ち上がりました。例年新たな取り組みを図るべく予算化しております。新しいプロジェクトの提案を期待します。

第5号議案 令和4年度収支予算

令和4年度八日市地区まちづくり協議会 収支予算書

令和4年度 八日市コミュニティセンター収支予算書

（まちづくり事業会計） 令和4年4月1日～令和5年3月31日  
収入の部 (単位：円)

（指定管理会計） 令和4年4月1日～令和5年3月31日  
収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
交付金	1,460,000	東近江市まちづくり総合交付金
繰入金	400,000	八日市地区まちづくり基金より
繰越金	4,750	前年度繰越金
雑収入	250	預金利息等
合 計	1,865,000	

科 目	予 算 額	摘 要
指定管理料	15,513,000	コミュニティセンター指定管理料
指定事業収入	300,000	短期講座受講料等
雑収入	166,112	一般コピー代、利息等
繰越金	120,888	前年度繰越金
合 計	16,100,000	

支出の部

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
事務局費	30,000	消耗品費等
補助金	400,000	八日市地区自治会連合会補助金
会議費	25,000	会議資料、湯茶代等
広報費	200,000	まち協だより用紙、印刷代
事業費	1,110,000	冒険遊び場づくりPJ 100,000
		延命夢クラブ 150,000
		子育て支援PJ 100,000
		八日市つながりPJ 120,000
		いきいきあったかサロン 60,000
		花いっぱいPJ 80,000
		箕作山麓里・山づくりPJ 50,000
		清水川湧遊PJ 50,000
		防災PJ 80,000
		歴史文化PJ 50,000
		イルミネーション 40,000
		まち鉄PJ 30,000
まちづくり応援補助金 100,000		
新規プロジェクト 100,000		
予備費	100,000	
合 計	1,865,000	

科 目	予 算 額	摘 要	
人件費	給料、手当	8,800,000	常勤職員3名、非常勤職員1名、給料、時間外勤務手当等
	法定福利費	1,350,000	社会保険料、労働保険料
	福利厚生費	250,000	中退共掛金、勤労者互助会負担金、健康診断料
	小 計	10,400,000	
運営維持管理費	消耗品費	800,000	事務用品、コピー代等
	燃料費	20,000	公用車ガソリン代
	水道光熱費	1,700,000	電気、水道、ガス代
	修繕費	200,000	施設修繕費
	通信費	160,000	電話、NHK受信料等
	損害保険料	250,000	公民館総合保険、公用車保険料
	委託料	550,000	警備保障、消防、電気設備点検等
	公用車維持費	70,000	公用車車検、修繕
	備品購入費	100,000	備品購入
	租税公課	880,000	消費税、法人税、法人市民税等
小 計	4,730,000		
事業費	講師謝礼	400,000	短期講座等講師謝礼
	事業消耗品	200,000	学級講座材料費、消耗品、広報用紙等
	使用料・賃借料	200,000	屋外ステージ賃借料、館外研修入館料、通行料等
	役務費	10,000	郵送代
	旅費交通費	10,000	出張旅費
小 計	820,000		
予備費	150,000		
繰越金	0		
合 計	16,100,000		

積立金の状況

名 称	令和4年度 期首額	一般会計 繰出額	令和4年度 期末予定額	湖東信用金庫 本店営業部 定期預金
八日市地区 まちづくり基金	3,760,000	400,000	3,360,000	



八日市松尾町にある松尾神社は、平安時代前期の仁寿2年（852）に東大寺所属の大寺院、延命山尊勝寺の鎮守として創建された。創建時の主祭神は建御雷神（たけみかづちのかみ）である。

隣町の建部日吉町には、かつて八日市村、浜野村も氏子であった建部17カ村の郷社の日吉神社がある。当初は日吉山王権現と言ったが、明治元年に布告された神仏分離令を受け日吉神社に改称した。

17カ村と神社のつながりは、単なる氏子と神社の関係だけにとどまらない。いずれの村も水利関係者で、八日市村や浜野村を含む上の郷8カ村は、愛知川から導水した吉田井川の井郷構成員で、下の郷9カ村は、ゆるがいの溜（日吉の溜池）、西の沢等の湧水の水利関係者なのである。

原因は判然としないが、延享2年（1745）に突然、八日市村と浜野村は建部上の郷から離脱する。水利権を失いかねない井郷の構成員からの離脱は、当時の人々にとっては死活問題であったに違いない。

あれやこれや

其の十九

大山咋神の巻

離脱の10年後、宝暦5年（1755）松尾神社は、離脱した日吉神社の主祭神と同じ大山咋神の分霊を松尾大社（京都）から奉迎することになる。



松尾神社で行われる4月の春季例大祭当日には、濱野村の小旗の立った「御供」（ごくさん）と呼ばれるご飯が、山高帽子に紋付という正装姿の日吉神社の使者により、

かつて浜野村の神輿が整列していた位置から「神酒」と共に運ばれて来る。大山咋神の加護なのか、離脱の軋轢等はまったく感じられない。大山咋神とはどんな神様なのか、古事記から引いて紹介する。「此の神は近淡海国の日枝山に坐し、また葛野の松尾に坐す神なり」とあり、滋賀県では（日枝山、松尾等）決して珍しい神様なのである。

森野吉雄さん

広報委員 ◎は編集委員長

総自治会名	氏名
東本町	山下 勝司 加藤 貴子
八日市町	川村 信蔵 中村 敦美
金屋	藤島 銀二 荒川 貴美代
浜野	浦根 悦夫 上阪 よう子
八日市清水	高嶋 芳紀 田中 美恵子
八日市緑町	◎高村 修 松村 栄士

新しい広報委員さんです。よろしくお願いします。

加藤貴子さん



八日市地区の良いところを沢山お伝えできるように頑張ります

荒川貴美代さん



親しみやすい「まち協だより」作りに力ながら努力していきたいと思えます

田中美恵子さん



みんなが主役の紙面づくり！拙いですがヨロシクお願いします

片言隻句

新緑から深緑へ、ひと雨ごとに緑が濃くなってきましたね。緑色は自然をイメージさせる色で、気持ちも穏やかにし、心をリラックスさせてくれるそうです。

また、緑（植物）は葉っぱからの蒸散により、湿度や温度を一定に保ち空気をきれいにする効果があり、夏にはゴーヤなどの日除けをよく見かけます。視界に入る緑（植物）の割合を緑視率というのですが、緑視率が25%以上で「緑が多い」と感じるらしく、緑視率が高いほど、潤い・やすらぎ・さわやかさなどの心理的效果が向上するそうです。ちょうど市役所や図書館の周辺などは、緑が多いと感じる場所ではないでしょうか。

建物が密集した市街地では、どうしても緑が少なくなります。鉢植えなどを置くと、街中にも緑が増やせるのではないのでしょうか。

お家の周りの緑視率25%、いかがですか？



編集発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内  
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120  
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp





# まごころ

発行：八日市地区社会福祉協議会・八日市地区民生委員児童委員協議会

令和4年6月

令和4年度 八日市地区社会福祉協議会総会

4月に予定していました総会は、新型コロナウイルス感染防止のため書面議決を行い、理事の賛成多数により可決されました。

役職	氏名	所属
会長	加川 泰正	
副会長	小杉 光雄	民生委員児童委員会
副会長	池戸 旬男	自治会連合会副会長 八日市清水町総自治会会長
副会長	山本 とおる	給食ボランティア会長
会計	関 成文	民生委員児童委員
監事	松吉 愛子	八日市赤十字奉仕団八日市分団
監事	上阪 よう子	保護司会代表
事務局	園田 鈴雅	

## 研修

### 『高齢者の栄養について』

9月9日(金) 19:30より1時間程度

八日市コミュニティセンター ホール

参加費：無料

内容：管理栄養士さんを講師にむかえ、  
栄養の重要性、簡単な調理方法などをおしえていただきます

ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

当日、直接コミュニティセンター ホールへお越しください。

## あいさつ

八日市地区社会福祉協議会

会長 加川 泰正

この度、令和4年度八日市地区社会福祉協議会の会長に推挙されました加川泰正です。地域住民福祉向上の活動に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、高齢化社会の喫緊の課題である二〇二五年問題が押し寄せてきます。急激な高齢化に伴い医療や介護、社会保障といった社会構造への影響が懸念されています。

少子高齢社会で、今後の福祉行政は限界があり対応できない時代が目前に迫ってきています。こうした状況を踏まえて地域での対応が必要となります。

八日市地区では、二年前からボランティア活動で「あなたの応援隊」が地域住民の困りごとのお手伝いをするサポーター活動をされています。このような取り組みは、時代のニーズに即応した取り組みであると思います。

現在はコロナ禍で活動が制約される状況ではありますが、感染防止対策を行い地域住民間のコミュニケーションをはかり、住民一人一人が相手を思いやり、またお互いが助け合える地域づくりを関係者、各種団体のお力をお借りして、「住み慣れた地域で安心して暮らしていけるまち」づくりの活動を推進してまいります。どうか皆様のご協力をよろしくお願いいたします。